

卒業生 本郷正嘉氏の戦病死遺書

第二次世界大戦の日本の戦没者数は正確な数は出ていませんが、厚生省は総数を310万人、うち軍関係者と軍属が230万と推計し、その内訳は戦死より戦病死(戦傷死・補給不足による病死・餓死)が多いと伝えられています。

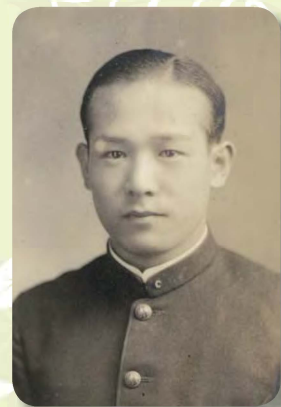
このたび、戦病死した明治学院高等部卒業生の絶筆と写真がご遺族から寄贈されました。

本郷正嘉氏は、米国との開戦の2か月前に召集され、満州に送られ終戦を迎えたものの、既に罹患していた腸結核が、十分な手当てを受けられずに落命しました。

在学中は皆勤賞のワイコッフ・マコーレー賞を受けるほど健康で、明るく笑って写真に写り、「心にも体にも苦勞のない学生生活でした」と述べた本郷正嘉氏でしたが、書簡では戦地で帰国もままならない中、悪化する腸結核と闘い、無念の思いを残しながら悲惨な最期の時を綴っています。

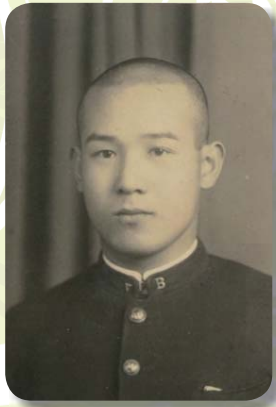
■ 本郷正嘉氏 略歴

- | | |
|--------------------|---------------------------------------|
| 1914(大正 3)年 5月16日 | 東京本郷で生まれる。 |
| 1927(昭和 2)年 4月 | 明治学院中学(現在の高校)入学 |
| 1932(昭和 7)年 春 | 中学卒業
明治学院高等商業部入学
商業実践研究会・謡曲部に所属 |
| 1935(昭和 10)年 春 | 明治学院高等商業部卒業/富山県庁奉職 |
| 1936(昭和 11)年 | 磐城炭鉱(株)本社資材課勤務 |
| 1941(昭和 16)年 秋 | 召集令状により東部8部隊入営 |
| 1941(昭和 16)年 10月 | 満州へ配属、自動車輜重第119部隊 |
| 12月 | 真珠湾攻撃 |
| 1945(昭和 20)年 2月 | 奉天の満州航空飛行機会社へ支援のため3122部隊へ |
| 8月 | ポツダム宣言受託・召集解除希望し鴨緑江河口の町、安東へ移動 |
| 1946(昭和 21)年 5月 | 八路軍の取り調べで、住居を追われる。 |
| 7月 | 病気が腸結核による痔瘻と診断される。 |
| 8月 | 栄養状態悪く急速に悪化。尾部・腹部に穿孔 |
| 10月16日 | 結核性痔瘻(腸結核)により安東で死亡 |
| 1947(昭和 22)年 4月17日 | 戦病死として公報される。 |



明治学院高等商業部3年の頃

本郷正嘉氏のアルバムより



明治学院高等商業部入学時



東部 8 部隊入営時



輜重 119 部隊時



高等商業部入学のころ



柔道大会



富士瀧ヶ原で



謡曲部の仲間と



チャペル前で